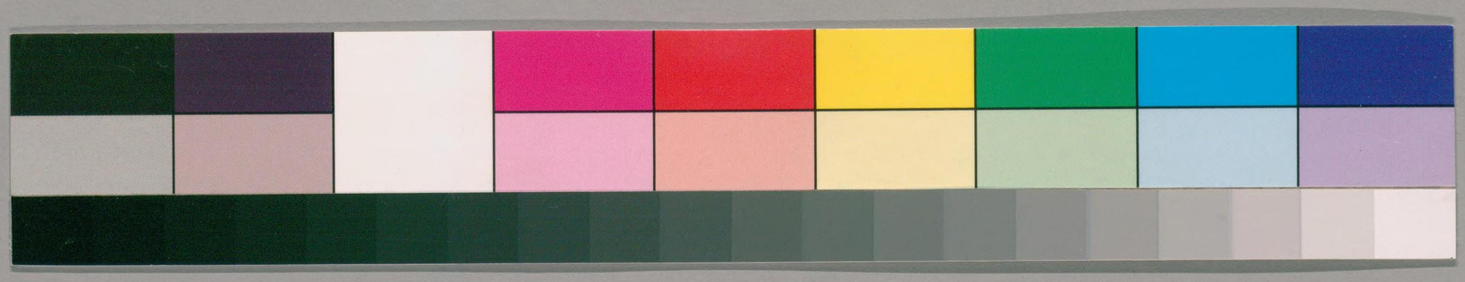
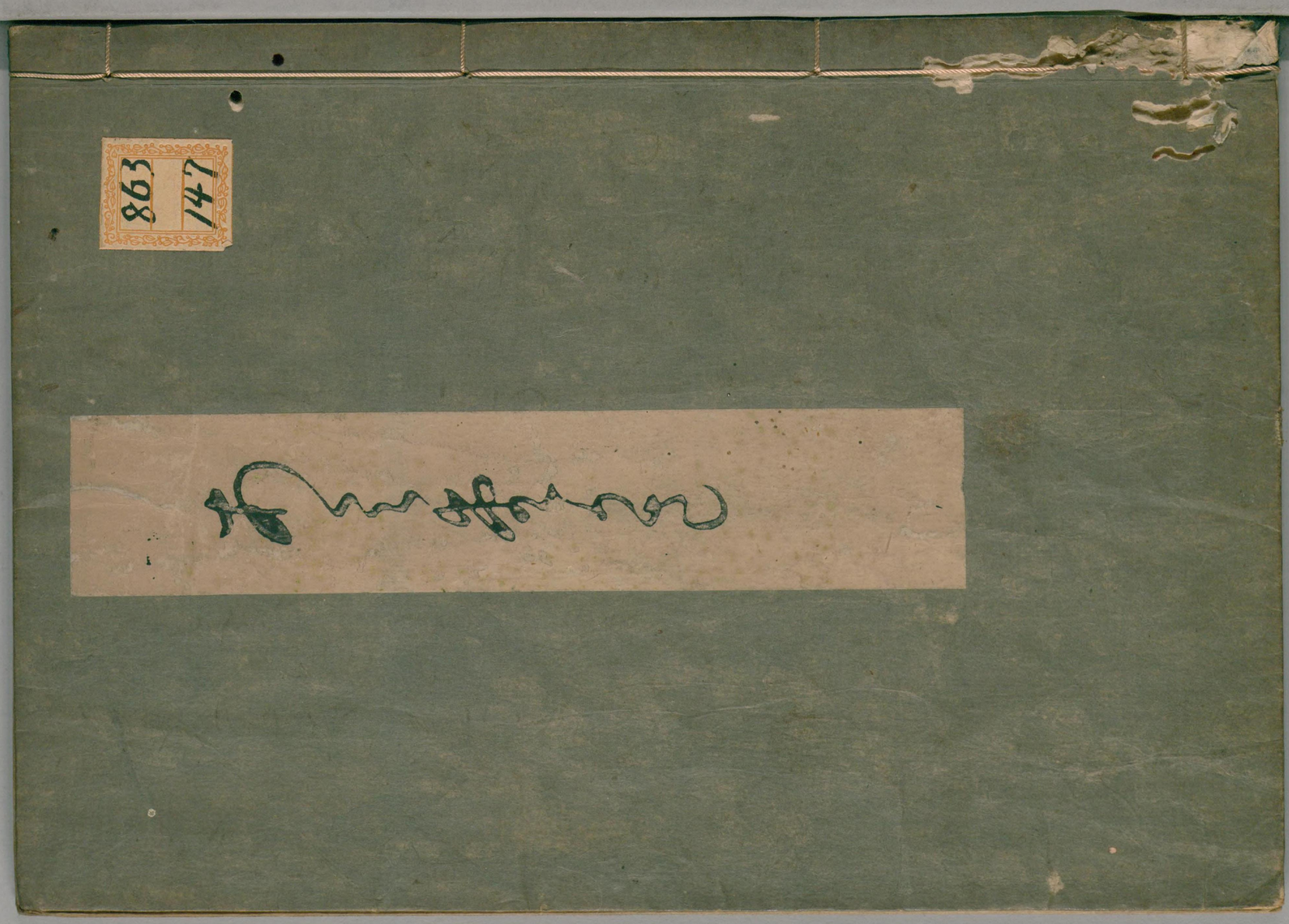




ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』　請求記号 863-147

863-147

和露文庫

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147

ガラス使用

863-147

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147
ガラス使用

帝国図書館蔵書

帝国図書館蔵書

伺孫庵雑集

四季偶雑

[illegal]の雪 [illegal]の月 一具
[illegal]先そなの赤らむ 雉嶺
元吐の八見有如をや 大梅
雪の汚 素芯
[illegal]り仲の雪 紫芝
[illegal]ー夕梅の色 一蒸

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147

ガラス使用

蕉雨
護物
久蔵
斐如
宋南
亭渕
多代女
西月

昌化
許勝
千転
一茶
宇橋
一肖
千崖
阜池
秋拳

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147

ガラス使用

ゆもめる名よもすがら　素芯
うれさてねの夢よりも秋の雨　一昊
ツー—うよ秋ハ事よりも蒲の孔　二丘
野神と竜伝ふる菱太節
るおりてくもひりうの藤の色　雪丸
まり秋やおもて釣地の蛸　蕉雨
大そまのほまこころる亀の女　
里よつまて山松のれも芦よりも　昌化
桃ふをて稲刈よる名よ小　陵山

男うぜの永れとそや姫別ちく　一瓢
なる参て大るよ歩ぬるの月　横岸
ほとときかー藤でうる部屋の　旧人
菊つむ四系毎のをうけれ　兎秋
月も秋よ歩ー夕や家おつる　久蔵
炮烙のテあるなりよの家　庵て
萩咲やるまそのあるの月の池　漢物
大きよあまるるくへこなの月　大林
降るものをうれる銚よ　一包

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147

ガラス使用

杉山や屋もの秋乃あるたゝり　梅令
下京いまこ帳つの渡る　多あ
百次よめの出てうろうろと　弓ま
杜一番のうれる雁の首ふ　石猿
望外や汲人のなよめもも　一董
油乃月つゝ一株の芒より　涼谷
見まつや箸よ捨てり人の気　江山
如意宝一枚の風よ急ぐ　一茶
白きや赤い鏡ふもおまつる　仏翔

きの春のの春　杉ハ杉白ー
汁かふかさり　塾や人町　若仏
杉の木もこう家すまやる規　一具
仕度よあれい鉢なよ俗ー　亀九
一銘銀なけて汲ちりまの川　太節
山ふくまで海苔のの塩り　其芭
学うー地ひうするたうの　志芯
見通ー上戸の杉や春の中　亀彦
うり秋や猿をよくれい　多あ
草堂　卓堂

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147
ガラス使用

入梅哉やえのとそよ佃島　雪柳
柳筋や作場町の一軒茶　一竜
杉杖乃赤よろしてゆく夢の　井眉
ほろ〳〵同一笹の雫　亀列
そうや秋さも立てゆく雲を　一茶
七夕やひとせ会ふきのふけふ　雨桐
誰やらん鷹雪を負ふきの暮　麻門
な乃花のいそ〳〵ある芒ケ　化迪
あさやよもすも正月三ケ日　湖中

七夕よ見るもあり抜ぬ石町　石海
紫山のもみぢあり山の雪　雪元
九合の茶もちよある二月哉　一青
ものうさや呼て休むや杜若　曰人
稲妻や一ちぎ雲を走る海士の犬　茂推
名所絵の神ぶれいたる橋の風　抹山
屋一杯て涼もおぼつかぬ雪柳ケ　清如
涼とうちよ嬉つきをりく奥や夢　ゆう
ち手の如ふりてやまず利根川ケ　雪金

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147
ガラス使用

秋風や法ふ多なる城くもる髪
志をし〳〵と西い降く佛生寺
笑うえてきと一ねや杜こ多
きねぎ乃彩のそうぬ時るゑ
会そ乃ふもかし〳〵ぬるるを
お宇て大辺ふ遇の梅の毛
使寺の宮へ牡丹二つん
高有て物出し〳〵や鉢多
つい〳〵と森はるるの笹ゑ

楓二
千駄
阜地
一茎
修嵐
十丈
稲舟
柳村
黔菓

ゑ梅よ多け八佛〳〵よ物きゑ
茶西降ら〳〵とる雲の事
面のな共宝地を掃出し牡丹弘
堂の先もうくぬあさねの
屋汁桶よ漆の物茶
うめ笑てさくてさるよ彩弘
めうも水よ彩見て湯うき
頓戎よあるま〳〵と笹や林のゑ
白鷺よの多さや彩りよ

修嵐
大柿
阜堂
め仙
修嵐
とーめ
和尚

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147
ガラス使用

古漢を苦よすれ庭の牡丹うゑ　蕉杖
灯ともせてし堀の水ちんぼうゑ　昌化
時雨の釣寄もるおうれ　蕉雨
庵我もや　まい蒸そこ拵うそき　井眉
ぶらつくよ小あかし一ちんともれ　友流
次およ至魔の出きる時分　守光
うんこ多　夢や　月ぞ　茶の煮染　石渡
あり丈の風の更中　貧小神　伯支
そこ庵の釣れ寿やふめる　碧山

梅ものとらさのけまも　正令
時さらまい多森な　不栽

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147
ガラス使用

泥まみれ野ねずみ焼いて
令　上もなくくの門おく月
枝　めでたしとてよ酒ぐ宴
令　刈跡はまだもふかまり
枝　荷物まて十六七のもれたるを
令　もちつゝ旅しみをするる
枝　今ゝゝ我里の梅の悪た
令　指佛の菓子ふまるる
枝　もゝ稲のちるゝ

枝　東海のつまらくお
令　江辺をも歩いても月の笹
枝　軍おけく九穂の秋風
令　お宮詣をするまでも猫
枝　小さの小橋の夜
ゝ　ひぐれの雪の音
令　のうちあの杉
枝　出ればぬきんなつを
令　そなうそくの川添

枝　ゆふべ一時の大雨のやみ
令　ちゝもゝ〳〵をおもてに
枝　その松のすんおと月の
令　その雫おすひて待よはる
枝　ふるそおそ　ぬのるひの
令　春宵の桟うん　歌て
枝　ゆるものしてねうんよ月う
令　まかの帰もきりの端の
枝　奥を者そまも生きの春

令　八文川よりの
枝　陽息八治利そゝる
令　ちるをいふるのまゝ
枝　井のもゝの近て荒き
令　屋そおゝのよ苗
枝　うんみりと引ふせる
令　巣ゝちゝれしおそ
枝　筆

○

竹の杖をさゝらまゝ秋の立　素雲

八朔の嶽〳〵山影こゆる市　石彫

名月の水面と見る小舟哉　雲暁

山路や一茶のまゝ成ぬ茅ぶき　泉雅

市中ハ苑の言もあり夏ごもり　勝め

るつゆく所ハ風の葉うら哉　うんめ

時雨や一樽さゝふる菊の酒　湖柁

その雨のうへ〳〵風のつゝき哉　菊お

をとりの名残へり〳〵柿ぬ葉　吸〳〵

市のやうな風の音也　頑嬉

義よ秀てそてまなかの秋の風　松宇

結芝の白うそまで敷うめ　鳥垂

椎葉や一つ葛色ハ事ぬ哉　方右

市中ハ禅もあれて夏の月　和文

志〳〵茶の花ぬを移す茶ぶ家　三園

月の花風ぬ長き胡蝶ぬ　二山

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147

ガラス使用

見ほらの名ハおくもあ　梅宇
宗はるのうらうらの月を　林之
まつりや　林の嵐のみ　芝ら
きのふまつりもまもあれ　女ずり
秋の雪　奈良名よ　長　ゑ二
り秋や　京将よ今ふ　有儀
ゑのそのおつきもあれや　文哉
夕皇の光いおもんとゑ　文汎
光のあるそのよ　度うり　村こ
秋の暁

布水
文来
稲丸

○

ゑの寝も庵よ　濃を　桂
ゑ庵よ　林あるや　徐
ゆきさ　ゑ　佳夕
ゆきも　ゑ　徐山
ゆきも　ゑ　南喬
ゆきも　ゑ　士芳
ゆきも　ゑ　苑秀

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147
ガラス使用

大盈
周仙
雄跨
暁山
宇太
東南
海雲
翥翁
宇陸

中〳〵よ喝ふ四枝の
梅咲や　寺庵
杉の杜のさゝ〳〵ふ
音を少々と有夏て人の
音を少々と有夏て人の
○
高天ケ原代ゝて五
天地のあふぐ日や
来賀堂ふ人を泊る
りふまりと庵よ海
芭蕉
紅蝶
なえ
逸風
苑秀

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147
ガラス使用

世を捨てふ松のみや
乳の色〳〵ぬるゝよりはつる清水
いつの書や旅の枕のあるかぎり
雨〳〵のるかけもなきの本意
ふるをうそなき雪も雨ふり
糸のをといふもまたをかしくて
まそ十なゝり句の景色
みをまん丸きめもいつの時雨
そゝるや塩竈も人の事

大山
小奥
秋長
鉛桂
寺桃
只玩
朴栖
高原
はる山

陽々
孤山
此心
蓑風
喜寒
鼓枝
麋水
線来
杉先

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147
ガラス使用

秋みをそもそもの月　灯
みしてそ荊のそみ　佐苑
古里や　芒張めそ　河梁
門い榜い井角よ々　暗寿
壺い華の言のもと　苑亮
狩人の笠屋望そち　其之
悟んて孫矣そ　紡計
春の素吟稗の俳　奥谷
父母の墓ち　孫そり　翁の日
　　東義

医そそ　狐之
清亭の鶯い笠そ　もとう
上州のお撰丸売　枕流
打風いうそりて　迷石
笠そ毛笠そそう　海禽
硯そ　下息つま　枕竹
雪梅や笠そそよな　猶也
雪こそおそそ笠の　不枝
○

雨こぬ雲のやまぬ月　玉英
苔芝の緑ほそき色　乾秀
五月雨や水鶏も仮寝　司馬
月さよ郭公と見し川舟　呂風
かきおもしろき雑のそまつ
つれづれとしてこもる神の
夕月夜苔むす墓の松ふく　東居
宗鑑ふりひとりよの別を山の住　雪窓

○

若葉初のそらぬれぬ月　東市
引ちぎる筑紫の向やひとふし　春碩
沙の春出て夢ぢ木の実うす雨　雪
陽とてきんとするふかを通り　凌潮
きくくと苔むす牡丹のほろ酔　知水
山くれかゝるも隙ありけり　功義
盃に陽を飛ぬ小田舟了　汀左
衣更の影ひらりと仙之

○

山水
梅里
東翠
東南
秋垚
新家
翁麥
紫久
万宗

夕里
二角
一甫
英九
雀夕
其山
斧周
雄男
夕比

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147

ガラス使用

春雨や柳のえだも風ふるひ　乙蝶
ふるのこよ立ぬる雪の柳哉　乙負
留酒の沙汰してゐる也炭俵搏　呂竹
蔵守や猫よけ柿のそこく迄　妙先
きさらぎや猫の恋路の後ろ姿　金弓
猫妻の洗ひ風呂迄添ふ事　添乙
鳴雲雀もとんと絶たる日　杉九
八朔や小さきそろひの新朗　妙添
四月の大根ほそる内美くし　志葉

月の宿四日新ぢやてそよ鴨の声　亀眠
あまうらハ四月也十三夜　古葉
蛙一つのあり小き杉森ル　暁也

○

田の畔のうけてある迄鴨の声　莞水
空すゝしのせて流るゝ木ル　寓丈
猫つまや宮のあるへ橋のうへ　伯川
片つゝま咲や一輪の柿の花　蛙泳
小戸をの柳ふてきふ扇ようの事　五井

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147
ガラス使用

人音の絶もみえ
雲あけて市をみえそめ
む昆布ハそりもすて
八月の猶ふかし
猪むしもあもも也屠し蘇る
十ゝ九芝をあゝす小ふ
梅ゝ香ふ作家志ゝる新築
社参詣の群衆の
小ぜなのぬくもる京の
味噌
老若
株前
風盛
を山
石佐
鬼吹
南石
秋ゝ

京する清ゝのうゝへの
今まゝゝそをゝゝ
山里ハそうかゝゝ
ゝゝめをうけてうゝ
多義やゝふをゝうまゝ
竹の竿をこゝうゝをうす清水ゝ
詩をもてまゝゝゝ
隠元豆の多豆ぬ
太暁
英亭
木弓
竹英
民蝶
雀堂
玄子
太橋

斗六　雨竹
尺高　波童
雲如　巴江
曽及　蕪丈
居候　梅園
暁候　湖堂
民丈　家丸
曽窓　桃二
如月　蕪山

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147
ガラス使用

梭良
楠甫
雪谿
武乙
千甫
六朗
桃峨
二澗
作岸

小年 太郎丸
涼汀
宇喬
滴天
東冬
麦阜
白也

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147

ガラス使用

和やかに…… 和亭
川筋の…… 宮帆
松ふさの…… 妙味
きり水の…… 可に
七そのの…… 雀有
引舟の…… 雪重
堤うち…… 和助
清風よ…… 李廊
李物の…… 宮水

川風よ…… 士原
そのもる…… 玉英
情その…… 壮山
白鷺の…… 東望
初むらん…… 玉之

○

菜頃よ…… 圭翁
夏ごろと…… 川條
大夏——…… 白應

芦兒
夢之
樗丘
桃民
杉月
玖巳
桐夛
天朗
亀臥

玄川
鷲青
殘蓮
岡秋
正令
杉徑

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147
ガラス使用

書よある庵そとよ什も幸の月　園秋
るも除夢の粥すそ峰　正令
器部ものるそんとの匂ひおさそも　杉徑
こけて凋のな竹筒こ　鶯青
涼一さん身そ人の名ゐひ　川條
扇舎も西なそも　桐泉
も杭なむすふ箸さへ沙彌　蕪こ
這まくまのうつく菩堂　櫻立

後そそう峰そ日そすす秋そ凡　玖巴
ゆそ子の降夢こそそあち草　桃民
月の西漫のくよ降も　杉自
夢よつくもん相鹿伊乃志　白廼
そくくと前碧一多風乱の郭　殘葎
水を傷そくそる振つ杉明　亨川
繁搖もおまひあそうて見命こ　亀臥
梓の前のうるおつ　天朗
そそよ音さやていもよひそ　圭禹

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147
ガラス使用

芦兄　猶丸
大君のお目よけ　柳し
妻のほうろく　不村
すゝんあも人のこゝろ　之仙
身の塵を吹さそや　愚雲
杉風よ竹をもやせはのり桶　松侭

暁も
言葉
太摘
牟喬
玉之
うな平
玄子
正令
湯ゐ

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147

ガラス使用

ゑを田の苗えふや　　ろ木履　乙負
夏あつさぬてさまし物　　貝谷
春梅や　　ゑ霧ふゑの元思ト　　李園
門松の蜑も来てみるの春　　川丈
梅ゝ　　といふて赤ゝ沙ゆ引　　宇智
見初雲へのある能の吹き田ゑ車　　天角
電光三日月とのる塙山ゑ　　旨及
堤やゑ　　ゑもしうきも後駅　　卜文
秋ゑつやゑ　　廣ゑ恵ん力ゑけ　　京丸

ゐるりゑちく　　玉之
ふゑゑりゑ芝のゑりて　　東雲
義や北菓のゑ　　玉英
水の軒ゆるむや　　悼の春　　涼汐
むの春や　　浦のゑもよゐる　　太楊
ゐをちゑ情故のゑをる　　霞堂
尺落ゑの弦之ますてきり寸　　木頂
傘さしも帝は於ふや　　芳のも　　空居
代なのそゑゝ　　建踊ん　　玄子

国立国会図書館　　タイトル『あみたかさ』　請求記号 863-147

ガラス使用

和さ　蛇午
言美　この一座のお歌の世月か
吐雲　名もよろこびの華のかをりより
不材　もゝ〳〵萬葉林の枝ふり
許山　失をえよ舟こゝに来る鳥
古葉　五月雨や一聲よぬまの草杜
旋男　花ぬすつゞきもの岡のそよぎか
文比　多き夕まぐれ
杉徑　大系や一元人彫の墨痕を

恕雲　月あらき夜や一聲のこる峠一
正令　二百十日前の夕服こゆより
暁也　禁令ゆえ来の業なり冬籠
志葉　山うつも年貢の済て秋の月
紫久　吹風の勢ひえもの木の葉哉
うね女　牡丹哉や一ハいとゞ砕
吟甫　なの花やそこら一面風薫る
南陂　ゆかしき一句を得て一夏
山水　月まや一座就す山のうへ〳〵

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147

ガラス使用

佳夕
猟丸
雄嵩
素史
石龍
むつ
うん
雪風
家暁

ふ村
友之
之仏
鳥雅
湖柁
宇喬
宵丈
二万
娃孫

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147

ガラス使用

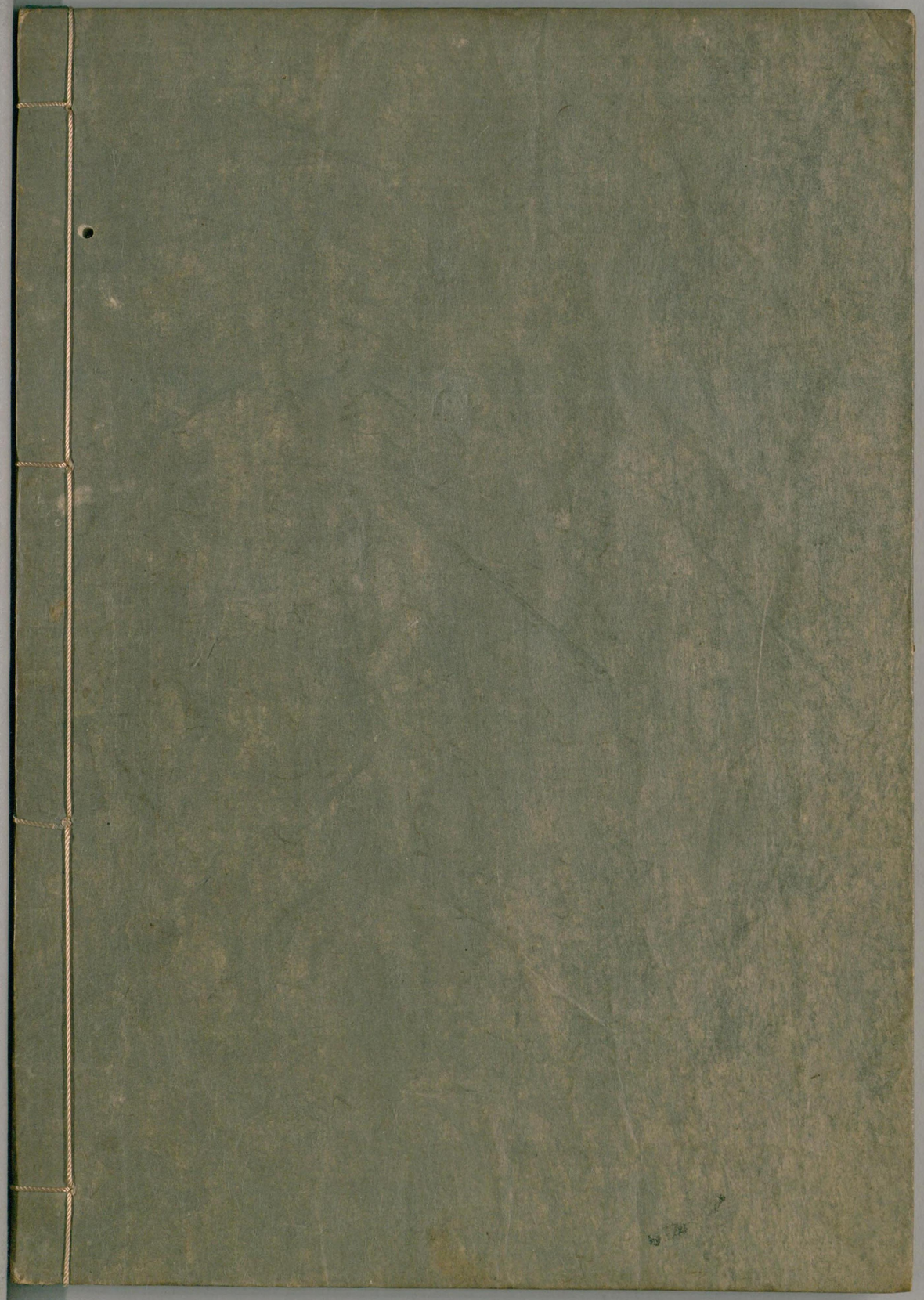
863
147

44174

研のぬくまりをまつ朴の
買郵ふりて命をつぐる
ちちんことを祈りの
ゆふぐれぬ

高川のまち貧家の小雪ふり
狗川のまちあかりそふる

国立国会図書館　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147
ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『あみたかさ』 請求記号 863-147

ガラス使用